

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	愛厚ホーム瀬戸苑	階数	地上1F
建設地	愛知県瀬戸市原山町1-9、1-10、1-11	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	110 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年6月14日
敷地面積	34,712 m ²	作成者	宮地雪乃
建築面積	5,954 m ²	確認日	2018年6月14日
延床面積	5,789 m ²	確認者	成瀬 徳行



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 84%
③上記+②以外の 84%
④上記+ 84%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">62.2 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</p> <p>なし</p> <p>〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.1	0.29	3.2	3.2	1.00	3.1
3.1	空間のゆとり			3.6	0.31	2.4	2.4	0.50	
1	階高のゆとり		地域交流スペースの天井高3mを確保するため特に配慮	4.0	0.60		2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり			3.0	0.31		4.0	0.50	
3.3	設備の更新性			3.0	0.38			-	
1	空調配管の更新性	②		3.0	0.17			-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.17			-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.11			-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	3.0
1	生物環境の保全と創出	独自③		3.0	0.30			-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自④		3.0	0.40			-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④		3.0	0.50			-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.1
LR1 エネルギー					0.40				3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.53	5.0	0.30			-	5.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.20			-	3.0
3	設備システムの高効率化			3.0	0.30			-	3.0
4	効率的運用			3.0	0.20			-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00			-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50			-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50			-	
	集合住宅の評価			-	-			-	
4.1	モニタリング			-	-			-	
4.2	運用管理体制			-	-			-	
LR2 資源・マテリアル					0.30				2.6
1	水資源保護			3.4	0.15			-	3.4
1.1	節水		自動水栓、擬音付き便座を数多く設置	4.0	0.40			-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67			-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33			-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63			-	2.4
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.07			-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	-	3.0	0.20			-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	-	1.0	0.20			-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05			-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	独自		3.0	0.24			-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.22			-	2.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			-	
3.2	フロン・ハロンの回避			2.6	0.68			-	
1	消火剤			2.0	0.33			-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33			-	
3	冷媒			3.0	0.33			-	
LR3 敷地外環境					0.30				3.1
1	地球温暖化への配慮	①	省エネルギー計算による	3.6	0.33			-	3.6
2	地域環境への配慮			2.9	0.33			-	2.9
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25			-	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25			-	
1	雨水排水負荷低減	独自		3.0	0.25			-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			-	
3	交通負荷抑制	独自		3.0	0.25			-	
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25			-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33			-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			-	
1	騒音	独自		3.0	0.33			-	
2	振動	独自		3.0	0.33			-	
3	悪臭			3.0	0.33			-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			-	
1	風害の抑制			3.0	0.70			-	
2	砂塵の抑制			-	-			-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30			-	
3.3	光害の抑制			3.0	0.20			-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

愛厚ホーム瀬戸苑

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:62.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水器具を採用、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・個室はルームエアコンを採用しており、冷暖は室単位にて設定でき、制御性に優れています。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な維持管理仕様ではあるが、配管仕様を高品質とし、継続的なメンテナンスしやすさを考慮した設計としました。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物廻りには芝貼りや樹高3.0～4.0mの中高木の植栽を配置し、外構緑化を行っています。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根や外壁の外皮には十分な断熱を施し、建具には複層ガラスを採用して熱損失を抑制しています。 ・照明器具はLEDを採用し、点灯エリアを細かく区分けすることでエネルギー消費を抑制します。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・来客者から見えにくい位置にゴミ集積所を設け、廃棄物処理を集約しています。 ・節湯器具や自動水栓を採用して水使用量を削減しています。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・隣地境界に面している箇所はたくさんの樹木が生い茂り、敷地外への音や光が漏れにくい環境になっています。
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取り組みがあれば、ここに記載してください。</p>